

適切な森林整備の実施による土砂災害等の防止

5か年加速化対策

国土強靱化

災害時の効果発揮事例

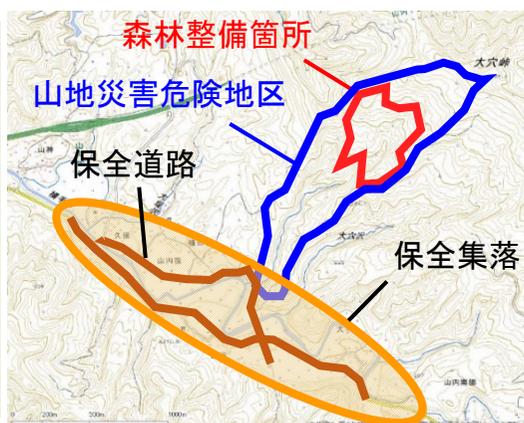
NATIONAL RESILIENCE

概要 : 秋田県横手市内の山地災害危険地区に指定された森林において、森林整備事業を実施。対策実施個所では、令和6年7月の大雨に際しても森林の吸水力が発揮され土砂流出等の被害は発生しなかった。

対策名 : 4 山地災害危険地区等における森林整備対策<5か年加速化対策>【林野庁】

■ **実施主体** : (公財)秋田県林業公社

■ **実施場所** : 秋田県横手市



■ **事業概要** : 約10haの森林整備を実施

倒木の危険性がある木や成長の劣る木を中心に約10haの森林を間伐することで、林内に十分な光が届くよう改善し、残存木の成長及び下層植生の繁茂を促した。

■ **事業費** : 約900万円 (R4年度) (うち5か年加速化対策 : 約900万円)

■ **災害の外力、被害と効果**

- ・令和6年7月25日からの大雨で、横手市では24時間雨量147mmを観測。
- ・近隣市町においては、63箇所(約8ha)の森林で土砂崩れ等の被害が発生したが、適切な森林整備を実施した本対策個所では、崩壊等することなく、山地災害防止機能等といった森林の有する多面的機能が発揮された。
- ・このため、住宅や道路への土砂流出や倒木及び流木の発生等の被害は発生しなかった。

近隣市町の被害



整備前



整備後

